

きずな

 2012年
(平成24年)

8



8月

人権文化をすすめる県民運動 推進強調月間

兵庫県では、日常生活の中で人権尊重を自然に態度や行動として表すことが文化として定着する社会を目指しており、特に8月を推進強調月間として市町と共に啓発活動を展開しています。11日は西宮市で「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2012 in にしのみや」を開催します。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

特集テーマ

同和問題

つながりを確かなものに

- 2 やさしくなろう
しまむらかずおさん(シンガーソングライター)
- 3 人権文化を確かなものにするために
一人権が尊重される学習活動づくり、
人間関係づくり、環境づくりの取り組みをー
五百住満さん(関西学院大学教育学部教授)
- 4 人権問題について考える機会の提供を
～自治体が発行する人権啓発冊子～
- 5 今日における同和問題の現状と課題
兵庫県健康福祉部人権推進課
- 6 きずなライブラリー特別編
夏休みに読んでみたい人権図書
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ぷらざ



特集

同和問題

同和問題についての理解と認識は着実に深まりつつある一方、結婚問題やインターネットを悪用した人権侵害などが後を絶ちません。今月は、県民の誰もが同和問題について正しく理解するとともに、一人ひとりが輝き、つながり合い、人権が尊重される社会づくり、環境づくりに向けた取り組みを考えます。



「やさしくなろう」

しまむら かずお さん(シンガーソングライター)

やさしくなろう もっと素直になろう
あたたかくなろう やさしくなろう

嫌われるのが 怖くて
またひとつ 嘘をついた
本当は淋しがり屋の ヘタなお芝居

誰も本当の自分を 分かってくれないと
人を恨んで 唇噛んで
泣きながら言葉 投げつけた

気がつけばいつも 自分の我がまま
分かっているけど
「ごめんなさい」のひと言が
なぜか言えなくて…

やさしくなろう もっと素直になろう
あたたかくなろう やさしくなろう

仲間はずれが 怖くて
つい 誰かの悪口を
心にもなく話した 自分が嫌い

みんなそれぞれ大切な
人生を生きている
人を愛して 人に愛されて
幸せになるために 生まれてきた

振り向けばいつも 誰かがそばにいる
独りぼっちじゃないのに
「ありがとう」のひと言が
素直に言えなくて…

やさしくなろう もっと素直になろう
あたたかくなろう やさしくなろう

やさしくなろう もっと素直になろう
あたたかくなろう やさしくなろう



この歌詞は、元高知市立長浜市民会館（隣保館）館長で、現在シンガーソングライターとして活躍している、しまむらかずおさんが作った「やさしくなろう」です。しまむらさんは館長時代から同和問題の啓発に取り組み、メッセージを心に届けたいと、全国500カ所以上で「やさしくなろうコンサート」を開いています。「土佐弁に『ぼっちり』という言葉があります。『ちょうど良い』という意味ですが、そこには心から理解してこそ物事の本質が見え、いい関係が生まれるという側面もある気がします。人と人が心からつながり合うために何が必要かを考えるヒントがあります」としまむらさん。「目で見える差別状況が分かって、目には見えない心理的差別やその意識を変えることは難しい。『やさしくなろう』は、優しくできる人間を目指すのではなく、優しい人間を目指すのだという願いを込めています」と話します。

プロフィール

高知市職員として青少年教育や同和対策、市民活動などを担当。隣保館の館長をしていたころは「歌う社会教育家」と呼ばれた。2010（平成22）年に退職し、現在は「被災地の学校へピアノを贈る運動」の先頭に立つて活動中。著書は「心のリンゴをあなたにも」（リール出版）。

人権文化を確かなものにするために

人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりの取り組みを

五百住 満さん（関西学院大学教育学部教授）



同和教育が果たしてきた役割

人権とは、人間が人間らしく幸せに生きていくための権利であり、一人ひとりの生命や自由、平等を保障し、生活を支える権利であります。

しかしながら、日本社会の歴史的な過程の中で形づくられてきた同和問題では、多くの人々の人権が長く侵害され続け、今もなお日常生活の中で差別を受けるなどの課題を抱えています。この問題の解決のため、国や地方公共団体では、これまでからさまざまな施策を講じるとともに同和教育を展開してきました。

同和教育とは、部落差別のみならずあらゆる差別をなくそうとする教育を指しますが、同時に差別をなくすためのさまざまな活動も展開してきました。しかしながら、これまで偏見や先入観などで差別され、不利益かつ不平等な扱いを受けた人は少なくありません。子どものころから差別によって経済的に厳しい生活を強いられ、学校に

も行けなかった人も数多くいます。

このため同和教育では、子どもたちに学力をつけ、自己の将来をたくましく切り開くための進路を保障していくということに力を注いできました。学力や保護者の経済力がなければ高校や大学の進学にも影響しますし、また、就職差別によって、安定した仕事に就くことができず、苦しい生活を強いられることもあります。差別はこのように「全般的不利益の悪循環」をも生んでいたのです。

同和教育が育んできた財産を生かし 人権啓発・人権教育を促す

ところで、今日の日本の社会はどうでしょうか。フリーターなど非正規雇用者の増加やワーキングプアの増加など確実に経済的格差を生み出しています。そしてその格差はますます大きくなってきています。部落差別が「差別と全般的不利益の悪循環」を生んだように、今また新たな形で「全

般的不利益の悪循環」を生み出そうとしているのです。

これまで同和教育が取り組んできた、学力問題や進路に関わる差別と貧困問題に真正面から立ち向かってきた経緯を思い起こし、人権啓発・人権教育においても、学校・家庭・地域・関係機関等が連携し、協働しながら、人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりに取り組み、人権を大切にする価値観を当たり前のものとして浸透させ、社会の人権文化をより豊かに育んでいくことが、今、特に求められているのではないのでしょうか。

プロフィール

1950（昭和25）年神戸市生まれ。同志社大学文学部文化学科卒業。兵庫教育大学大学院修士課程修了。兵庫県小学校教員、兵庫県教育委員会人権教育課課長を経て、2008（平成20）年関西学院大学文学部准教授、2011（平成23）年から現職。学校教育学、教育行政学、人権教育が専門。著書に「同和・人権教育Ⅱ（兵庫教育文化研究所）」「人権の歴史と同和教育」など。（公財）兵庫県人権啓発協会理事、兵庫県人権擁護推進懇話会委員も務める。

取材ノート
から

人権問題について考える機会の提供を 自治体が発行する人権啓発冊子

県内各市町では同和問題をはじめ、さまざまな人権課題を扱った啓発冊子を制作しています。

学習教材に使える

ワークシートを添付

丹波市では2005（平成17）年から人権啓発・学習冊子「じんけん丹波」を毎年発行し、全戸に配布しています。同誌は同和問題をはじめ、さまざまな人権課題について各分野の専門家や実践者からの寄稿などを収録。市民からは分かりやすいと好評です。

表紙には地元の風景写真や絵画などを採用。同和問題などの人権課題について、各分野の専門家や実践者が分かりやすく解説しています。

また、掲載内容に沿って人権学習に使えるワーク

シートも添付。子どもから

大人まで幅広い年代が有効に活用できるよう工夫を施しています。市の担当者は「ただ読むだけの冊子ではなく、学習教材として住民学習会などで手軽に活用してほしいです」と話します。

キャラクターを使って

親しみやすく

西脇市の人権教育啓発資料「ゆきちゃんからのメッセージ」は1990（平成2）年に創刊、今年4月に第23号を発行しました。

主人公の「ゆきちゃん」とその家族が日常生活の中で触れた人権問題を紹介。2010（平成22）年度は

カミングアウトをテーマに

取り上げました。「まだまだ社会にはいろいろな差別意識があり、同和地区出身の人や在日外国籍の人、性的マイノリティーの人など心を痛めている人もたくさんいます。人権課題の解決に向けた取り組みを進め、

『まち西脇』をめざしたいです」と市の担当者。編集に携わった市の人権教育推進委員の一人は「ゆきちゃんたちを自分に置き換え、さまざまな人権課題について考えるきっかけにしてほしいですね」と話します。

西脇市では人権問題を考える場で冊子の活用を呼び掛けています。

西脇



1991（平成3）年発行の第2号は、全国人権啓発冊子コンクールで総務庁長官賞を受賞

☎ 西脇市教育委員会人権教育室
TEL0795(22)3111(内線524・538)

丹波



☎ 丹波市人権啓発センター
TEL0795(82)0242

今日における同和問題の現状と課題

兵庫県健康福祉部人権推進課

同和問題とは

同和問題は、日本の歴史の中でつくられた身分差別によって、国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれ、生活する上で厳しい差別を強いられてきた、日本固有の人権問題です。

この問題を解決するため、長年にわたり国や地方公共団体が一体となって、生活環境、社会福祉、教育等各種分野で特別対策に取り組んだ結果、さまざまな面で存在していた格差は、住宅や道路等の住環境を中心に大きく改善され、2002（平成14）年に特別対策は終了しました。

こうした中、同和問題についての正しい理解と認識は着実に深まりつつある一方で、国や県の意識調査結果を見ると、いまだに結婚や居住、就職問題など課題が残っているのが現状です。また、2002（平成14）年に国が定めた「人権教育・啓発に関する基本計画」においても、同和問題は重要な人権課題の一つとして位置付けられています。

同和問題の解決を阻むさまざまな事例

●差別表現

インターネットの普及に伴い、特定の地区を同和問題に関連した地区として、その地区の名称や映像をネット上に流通させたり、公共の場に差別的な内容の落書きをするなど、差別を助長させる行為が依然として発生しています。

これらは、だれが書いたかわかりにくいという匿名性の高さを悪用して、誤った認識や差別意識を広めてしまう許されない行為です。

●身元調査

2005（平成17）年、兵庫県において、ある行政書士が興信所等からの依頼を受けて不正に戸籍謄本等を入手していた事実が発覚しました。また昨年11月には、東京の司法書士と探偵社による全国規模の不正取得事件も発覚しました。このような不正行為はプライバシーの侵害であるとともに、重大な人権侵害につながりかねません。身元調査により、本人の資質とは直

接関係のない出身地や家族の状況などから調べられ、それが結婚差別や就職差別につながることは極めて不合理なことであり、厳正な対応が必要です。

なお、このような戸籍謄本等の不正取得を防止するため、「本人通知制度」を導入している自治体もあります。

●土地差別調査

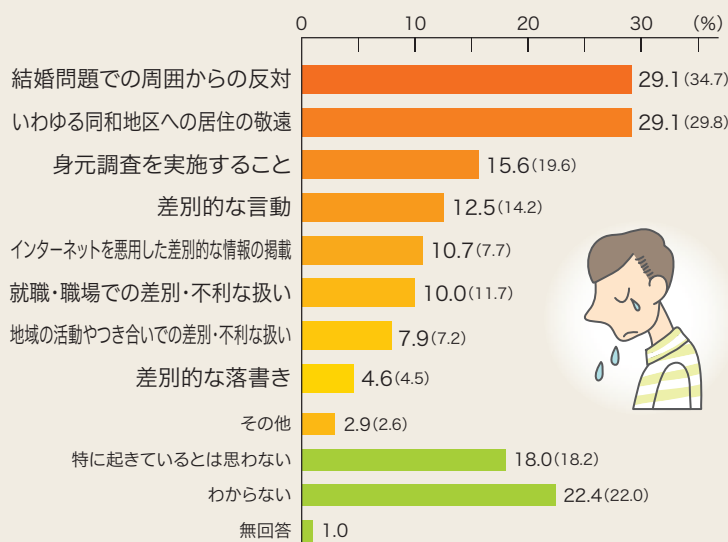
2007（平成19）年、大阪府において、マンション等の開発業者から土地調査の依頼を受けたリサーチ会社が、いわゆる同和地区等の地域について「不人気地域」「敬遠されるエリア」など差別的表現で報告していたことが発覚しました。また、同和地区等の存在について宅地建物取引業者や自治体の窓口等への問い合わせが今もあるといわれています。これは偏見や差別意識が根強く残っている表れであり、粘り強い啓発が必要です。

●えせ同和行為

えせ同和行為とは、同和問題を口実にして不当な寄付を募ったり、高額な書籍を売りつけたりする不当な要求行為をいいます。これは同和問題に対する誤った意識を植え付け、新たな

同和問題に関して、あなたは、今、どのような人権問題が起きていると思われますか

複数回答 ※（ ）は平成15年調査



兵庫県・財団法人兵庫人権啓発協会「人権に関する県民意識調査」（平成20年10月調査）より

兵庫県の取り組み

差別意識を生む大きな要因となっています。えせ同和行為をなくすためには、同和問題について正しく理解するとともに、不当な要求を毅然とした態度で拒否することが大切です。

兵庫県では、人権侵害に結び

付くような行為が行われることのないよう、差別のない共生社会づくりを目指して「人権文化をすすめる県民運動」を市町と共に推進しています。

今後とも学校、家庭、地域、職場などさまざまな場において、同和問題に対する正しい認識と理解を深めるための教育・啓発が浸透していくよう、隣保館等関係機関とも連携しながら取り組んでいきます。また、差別を助長するような事案に対しては、法務局と連携して適切な対応を図ります。

※本人通知制度：市町に事前登録した人の戸籍謄本・住民票の写しなどが第三者に取得された場合、交付日や交付した書類の種類などを本人に通知する制度。県内では今年6月に丹波市が導入。

きずな ライブラリー 特別編

毎月、のじぎく会館図書室の新着図書を紹介している「きずなライブラリー」。今月はきずな編集室が選んだ、子どもから大人まで幅広い層に読んでいただける7冊を紹介します。夏休みの読書感想文にも活用できます。今年は家族そろって「読書の夏」を楽しんでみませんか。



ありがとうの花
—魔法のメルマガは朝8時に届く—
■著者 山元加津子
■発行元 三五館
■テーマ 障害のある人

特別支援学校の教諭である著者は、脳幹出血で倒れた元同僚「宮浦」を見守る日々をメルマガ「マジ」で毎朝8時ごろに配信中。本書はそのメルマガをまとめたもので、読んでみると「ありがとう」という言葉が口について出そうになります。



さよならのブーケ
■著者 富安徳久
■発行元 かんき出版
■テーマ いのち

自分にとって「大切な人」との永遠の別れを迎えるとき、何を思い、どのように送り出しますか。葬儀会社の社長である著者が、家族や恋人など人と人のつながりを「おみおくり」から捉えています。



正しいパンツのたたみ方
■著者 南野忠晴
■発行元 岩波ジュニア新書
■テーマ 男女共同参画、子ども

大阪府立高校で初の男性家庭科教員となった著者が、子どもたちに暮らしを整える力や自立する力を身に付けてほしいとの願いから、ご飯の作り方やお金との付き合い方、時間の使い方などをアドバイス。大人が読んでも参考になります。



心のリングをあなたにも
■著者 しまむらかずお
■発行元 リーブル出版
■テーマ 同和問題

シンガーソングライターのしまむらかずおさんが、これまで発表した作品に込めた思いなどをエッセイ形式でつづっています。ライブの模様を収録したCD付き。



60歳のラブレター 絆
■発行元 NHK出版
■テーマ 高齢者、いのち、人権一般

東日本大震災によってあらためて夫婦、家族の絆の在り方が問われています。本書は、大手銀行が毎年11月22日（いい夫婦の日）に募集している夫婦のラブレターと家族のラブレターの中から160編を収録。一つ一つの言葉に心温まります。



てるちゃんのかお
■著者 藤井輝明 ■絵 亀澤裕也
■発行元 金の星社
■テーマ 子ども、人権一般

医学博士の著者は2歳で発病した海面状血管腫によって顔に大きなこぶができました。子どものころからいじめや差別を受けてきましたが、お母さんの励ましによって乗り越えるという愛と感動の物語です。



俺に似たひと
■著者 平川克美
■発行元 医学書院
■テーマ 高齢者、いのち、人権一般

若いころは絶対に相いれないと思っていた父親。しかし、「俺」は年老いた「俺に似たひと」のために、仕事帰りにスーパーでとにかく買い、「風呂はいいなあ」の言葉を聞きたくて入浴介助を続けます。





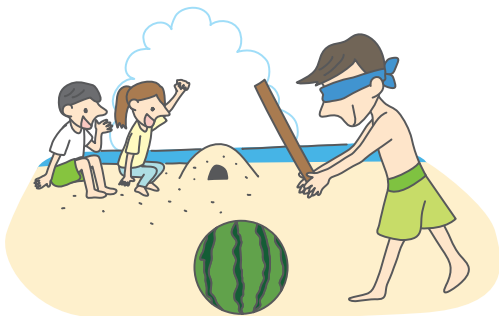
読者からのお便り

●6月号のきずなライブラリーで取り上げられていた『あの日』に生まれてきた命」を読み、地域医療を守り、苦悩する福島の医師の姿に感動しました。私の娘は途上国で働かされている医師のお手伝いをしています。私も親としてしっかりそのことに向き合いこれからの日々を心して過ごしたいと思います。
(神戸市垂水区・匿名希望)

●病院の待合室で「きずな」を手に取りました。母子家庭の知り合いはいますが、母子生活支援施設のような施設があることを初めて知りました。役立つ情報はどんどん発信していくことが大切だと思いました。
(姫路市・アキちゃん)

●若い世代にとってしんどい時代。続々と高齢者の仲間入りする人がいる中、知恵と経験を生かして、若い人たちを元気づけたり、助けたりしている高齢者を紹介してほしいと思います。
(西脇市・遠藤友美雄さん)

「きずな」のバックナンバーは、当協会または各市町の人権啓発担当部署にお尋ねください。



クロスワードを解いて、A～Lの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう？



カタ
ギ
の

- 1 他人のために尽くそうという、純粋で偽りのない気持ち
- 3 地道で危なげがないこと
- 4 「〇〇整然と話す」
- 5 「こんにちは」「さようなら」を表すハワイでのあいさつ言葉
- 7 他人の権利などを損なうこと。「人権〇〇〇〇」
- 9 世間に広く知れ渡ること
- 10 特定の領域・限度の中。
「無理のない〇〇〇〇で節電に協力したい」
- 11 物事の道理を判断する能力。「〇〇的な会話」
- 12 自分と他人
- 14 そこにいるすべての人。「〇〇の衆」

ヨコ
のカ
ギ

- 1 何事にも〇〇向きの姿勢で取り組みたい
- 2 ある地点から他の地点までの道の長さ。
目的地までの道路の距離
- 6 人のためにこまごまと気を使うこと。
「〇〇〇〇〇〇のごちそう」
- 8 人が住む家
- 10 植物が芽を出すこと
- 11 物事の筋道が通らないこと。「〇〇〇〇な仕打ち」
- 13 ここであきらめては努力してきた〇〇がありません
- 15 クラーク博士が若者たちに、これを持って大きな夢を実現してほしいと呼び掛けました

〈6月号の答え〉キョウリョクシアッテコソ(協力し合ってこそ)

お便り掲載者 クロスワード正解者(抽選)

トーチ・ランタン・ライトをプレゼント!

「読者からのお便り」の投稿掲載者(10月号に掲載)とクロスワードの正解者(抽選で10人)にトーチ・ランタン・ライトをプレゼント。本誌「きずな」のご意見やご感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。※投稿はペンネームの使用も可能です ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます



■応募方法・締め切り

はがきかファクス、メールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用する場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を書いてください。9月4日(火)締め切り(必着)

■応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内
(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな編集室」

TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 ✉info@hyogo-jinken.or.jp



丹波市人権コンサート	●日時／8月2日(木)19:30～21:10 ※申し込み不要 ●場所／丹波市立春日文化ホール ※JR「黒井」駅から徒歩約3分 ●内容・出演／「～こだますところ・金子みすゞのまなざし～」ちひろさん(歌手、作曲家) ●問い合わせ／丹波市人権啓発センター TEL0795(82)0242
新温泉町 人権を考えるつどい	●日時／8月4日(土)13:30～15:30 ※要問い合わせ ●場所／新温泉町夢ホール ※町民バス(夢つばめ)「温泉総合支所」からすぐ ●内容・講師／人権ポスター・標語の表彰と入賞作品の展示、講演「震災復興を通じて考える『まちづくり』の視点」片山善博さん(慶應義塾大学法学部教授、前鳥取県知事、前総務大臣) ●問い合わせ／新温泉町社会教育課 TEL0796(82)5629
三田市 平和を考える市民のつどい	●日時／8月5日(日)13:30～ ※申し込み不要 ●場所／三田市フラワータウン市民センター ※神戸電鉄「フラワータウン」駅から徒歩約3分 ●内容・出演／一人芝居「決断 命のビザ」～“SEMPO”杉原千畝物語～水澤心吾さん ●問い合わせ／三田市人権推進課 TEL079(559)5081
姫路市第1回人権のつどい 「ひびきあう心 ふれあいのひろば」	●日時／8月7日(火)13:00～ ※申し込み不要 ●場所／姫路市文化センター大ホール ※JR・山陽「姫路」駅から徒歩約25分、または神姫バス「姫路市文化センター前」下車すぐ ●内容・講師／校区人権教育推進功労者・人権作品特選者の表彰、講演「人権に対する市民意識のいま～平成23年度人権についての姫路市民意識調査の結果から」阿久澤麻理子さん(大阪市立大学大学院創造都市研究科教授) ●問い合わせ／姫路市人権啓発課 TEL079(221)2376
相生市人権の集い	●日時／8月8日(水)18:00～19:30 ※申し込み不要 ●場所／相生市民会館中ホール ※JR「相生」駅から徒歩約5分、または神姫バス「市役所前」下車すぐ ●内容・講師／講演「人権力を養う～災害でみてきたこと、これからのこと～」辛淑玉さん(人材育成コンサルタント) ●問い合わせ／相生市人権教育推進室 TEL0791(23)7145
加西市 人権文化をすすめる 市民のつどい	●日時／8月19日(日)13:15～16:00 ※申し込み不要 ●場所／加西市民会館文化ホール ※加西市コミュニティバス「市役所前」からすぐ ●内容・講師／愛の詩・ポスター・標語の表彰、ブラックライトシアター、講演「違いを楽しみ、力に変える多文化共生“新”時代」J.A.T.D.にしゃんたさん(羽衣国際大学准教授、多民族共生人権教育センター理事) ●問い合わせ／加西市人権推進課 TEL0790(42)8727
加古川市 「いのち輝くまち加古川」 人権フォーラム	●日時／8月19日(日)14:00～ ※申し込み不要 ●場所／加古川市民会館 ※JR「加古川」駅から徒歩約5分、または神姫バス「市役所前」下車すぐ ●内容・講師／講演「いま、人権とは？～足元から見つめ直す～」山本健治さん(フリーライター) ●問い合わせ／加古川市人権施策推進課 TEL079(427)9356
宝塚市 第28回「心のふれあう 市民のつどい」	●日時／8月21日(火)13:30～15:30 ※申し込み不要 ●場所／宝塚ホテル ※阪急「宝塚南口」駅から徒歩すぐ ●内容・講師／講演「自分を生きる～それぞれが、それぞれの『色』に輝いて～」落合恵子さん(作家、東京家政大学人間文化研究所特任教授) ●問い合わせ／宝塚市人権男女共同参画課 TEL0797(77)9100
(公財)兵庫県国際交流協会 「多文化共生」を考える 研修会	●日時／①8月20日(月)②22日(水)③24日(金)④27日(月)いずれも13:30～16:45 ※要申し込み ●場所／①②④国際健康開発センター3階交流ホール ※阪神「岩屋」駅から徒歩約8分 ③海外移住と文化の交流センター5階ホール ※JR・阪神「元町」駅から徒歩約15分、または市営地下鉄「県庁前」駅から徒歩約10分 ●内容・講師／①[グローバル化とマイノリティ]リングホーフ・マンフレッドさん(大阪産業大学人間環境学部教授)、山本かほりさん(愛知県立大学文学部准教授)②[外国人の子どもの教育]児島明さん(鳥取大学地域学部准教授)、鍛冶致さん(大阪成蹊大学マネジメント学部准教授)③[外国人多住地域の状況と取り組み]松岡真理恵さん((公財)浜松国際交流協会多文化共生コーディネーター)、ローズ・マリーさん(ふれあい館相談員)、④[多文化共生に向けての課題]高島ふさ子さん(神戸公務員ボランティア会員)、佐野真一さん(ノンフィクションライター) ●申し込み・問い合わせ／NPO法人神戸定住外国人支援センター(KFC) TEL078(612)2402

「ひょうご・ヒューマンフェスティバル2012 in にしのみや」を開催

入場無料!

日時 8月11日(土) 10:00～15:30
場所 西宮市民会館アミティホール

“夜回り先生”でおなじみの水谷修さんの人権講演会や歌手の川嶋あいさんによるトーク&ライブ、「それいけ!アンパンマンショー」など盛りだくさんの内容です。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。